

各 位

徳島大学工学部理工学科  
社会基盤デザインコース  
コース長 橋本 親典

### 竹林征三 先生の特別講義「治水の歴史―世にも不思議な技術の歴史―」の開催のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

このたび、風土工学デザイン研究所理事長の竹林征三先生が、鹿島出版会から「物語 日本の治水史」を発刊されました。

治水史には汲めど尽きない話に満ちており、治水哲学への関心は、河川技術者や土木技術者にとって必須の心得の1つであります。にも拘わらず、現在の第一線の現場技術者は、日常の業務に追われ、担当河川の水害と治水の貴重な歴史を軽視している感があります、

技術は失敗・事故の反省により進展してきており、河川浸水災害は繰り返し起きております。換言すれば、破堤・災害は河川の持つ遺伝子であります。しかしながら、治水の失敗は歴史から消えていきます。これに対し、古代から伝承されてきた、治水神・禹の伝説は脈々と四千年の系譜があり、現在もその途上と考えられます。現在は、巨大災害の世紀であり、治水事業は混迷を深めております。解決策を治水の歴史から学ぶべきことは多いはずで、治水事業の失敗を過去から現在まで俯瞰的に視ることによって、今後の治水事業のあるべき姿を関考えるヒントになります。

本書の発刊に伴い、竹林先生が、社会基盤デザインコースの学生に是非講演を行ないたいとの申し出があり、社会基盤デザインコースとして、この申し出を有難くお受けすることといたしました。

本特別講義は、社会基盤デザインコース1年次の必修科目である「技術者・科学者の倫理」における授業の一環としても位置づけられております。竹林先生には、新刊「物語 日本の治水史」の概要をわかりやすく講演していただく予定です。

本書がすべての河川技術者に愛読され、治水史の重要性を再確認し、河に向き合う姿勢を正すことを強く期待し、出席者の皆様の今後の建設関連の研究や業務に役立つものと確信しております。この特別講義は、土木学会四国支部徳島地区の平成29年度「土木の日」記念事業の1つとして開催いたします。

皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 主催：徳島大学工学部理工学科社会基盤デザインコース
- 共催：(公社) 土木学会四国支部
- 後援：(公社) 日本技術士会四国本部
- 日時：平成29年11月18日(土) 13:00～16:30

●会場：徳島大学理工学部共通講義棟 6F 創成スタジオ（徳島市南常三島町 2-1）

●定員：100 名程度（申込先着順）

●参加費：無料

●プログラム土木学会継続教育（CPD）プログラム（3.5 単位）

12:30～13:00 開場・受付

司会 橋本親典（徳島大学）

13:00～13:05 竹林先生の紹介

村上 仁士（徳島大学名誉教授）

13:05～14:35 「治水の歴史―世にも不思議な技術の歴史―」

14:35～14:50 休憩

14:50～16:20 「巨大災害の世紀 技術者・科学者の倫理」

16:20～16:30 質疑応答

●申込方法：参加ご希望の方は、別紙の申込用紙に、氏名、勤務先、住所、電話番号、FAX 番号を明記のうえ、FAX（087-856-7602）または電子メール（kazuyo@ce.tokushima-u.ac.jp）でお申し込みください。

●内容に関する問合せ連絡先：橋本 親典

〒770-8506 徳島市南常三島町 2 - 1

徳島大学大学院社会産業理工学研究部

TEL 088-656-7321 / FAX 088-656-7351

E-mail : [chika@ce.tokushima-u.ac.jp](mailto:chika@ce.tokushima-u.ac.jp)

竹林 征三先生のご略歴

1967 年 - 京都大学土木工学科卒業

1969 年 - 京都大学大学院修士課程修了後、建設省に入省

1991 年 - 建設省土木研究所ダム部長

1994 年 - 建設省土木研究所環境部長

1996 年 - 建設省土木研究所地質官

1997 年 - 財団法人土木研究センター風土工学研究所長

2000 年 - 富士常葉大学環境防災学部教授、附属風土工学研究所長

2007 年 - 富士常葉大学大学院環境防災研究科教授

2010 年 - 富士常葉大学名誉教授、山口大学大学院理工学研究科講師

2011 年 - 風土工学デザイン研究所理事長・環境防災研究所 所長

2012 年 - 2013 年度 山口大学時間学研究所客員教授